



試験区分：水産

農林水産部 水産研究所
浅海増殖部

研究員 古山 遥



ある1日のスケジュール

- 8:30 業務開始（メールのチェックをします）
- 9:30 飼育魚類の飼育管理や水質チェック
- 13:00 調査地の藻場で潜水し、放流したアワビの追跡調査
- 16:00 市場で放流魚の混入率調査
- 16:40 研究所に戻り、報告書作成
- 17:15 業務終了

入庁後の経歴

平成30年度 入庁
農林水産部 水産振興課 加工・流通担当
令和2年度 水産研究所 浅海増殖部



Q 現在の担当業務を教えてください。

トラフグや海藻、アワビなどの水産資源を増やす試験研究を担当しています。放流したトラフグやアワビが天然環境で無事に育っているか追跡調査を行ったり、海藻を育てて港内へ移植したりと、アクティブな仕事が多いです。潜水での調査もあるため、趣味のダイビングが仕事に活かせて楽しいです。漁業者さんとのコミュニケーションを大事に、常に現場に駆けつけるようにしています。

Q みなさんにメッセージをお願いします。

海岸線が短く時化も多い山形県の海ですが、美味しい水産物がいっぱい、熱い想いをを持った漁業者さんもたくさんいます。今後も持続的に水産物が漁獲できるよう研究や調査を行うことはもちろん、県内外の漁業調整や水産物のブランド化など、幅広い視野が必要となります。まずは県内で獲れた旬の美味しい魚を味わいながら、一緒に水産物を盛り上げていきましょう！

Q これまでの業務で印象に残っていることは。

以前の職場では内陸の方々に庄内浜の魚を紹介する「庄内浜魚まつり in 山形」を主担当として開催しました。魚に親んでもらえるような工夫を凝らした企画を行い、多くの来場者に楽しんでいただけました。一方、「こんな魚が獲れることを初めて知った」という声もあり、消費者へもっと情報を発信することの大切さを感じました。

